



NetApp Consoleのメンテナンス

NetApp Console local deployment

NetApp
August 10, 2026

目次

NetApp Consoleのメンテナンス	1
NetApp Consoleのローカルデプロイ用のvCenterまたはESXiホストのメンテナンス	1
VMメンテナンスコンソールにアクセスします	1

NetApp Consoleのメンテナンス

NetApp Consoleのローカルデプロイ用のvCenterまたはESXiホストのメンテナンス

NetApp Console ローカルデプロイメントでは、コンソールローカルデプロイメントをデプロイした後でも、既存の vCenter または ESXi ホストに変更を加えることができます。たとえば、コンソールローカルデプロイメントをホストする VM インスタンスの CPU や RAM を増やすことができます。

VM ウェブコンソールを使用して、以下のメンテナンス作業を実行します。

- ディスクサイズを増やす
- コンソールのローカル展開を再起動します
- 静的ルートを更新する
- 検索ドメインを更新する

制限事項

メンテナンスコンソールでは、IP アドレス、DNS、ゲートウェイに関する情報を閲覧することのみ可能で、更新はできません。

VM メンテナンスコンソールにアクセスします

vSphere クライアントからメンテナンスコンソールにアクセスできます。

手順

1. vSphere クライアントを開き、vCenter にログインしてください。
2. Console のローカル展開をホストする VM インスタンスを選択します。
3. 「Launch Web Console」を選択します。
4. VM インスタンス作成時に指定したユーザー名とパスワードを使用して、VM インスタンスにログインします。ユーザー名は `maint` で、パスワードは VM インスタンス作成時に指定したものです。

maint ユーザーのパスワードを変更する

`maint` ユーザーのパスワードを変更できます。

手順

1. vSphere クライアントを開き、vCenter にログインしてください。
2. Console のローカル展開をホストする VM インスタンスを選択します。
3. 「Launch Web Console」を選択します。
4. VM インスタンス作成時に指定したユーザー名とパスワードを使用して、VM インスタンスにログインします。ユーザー名は `maint` で、パスワードは VM インスタンス作成時に指定したものです。

5. 入力 `1` して `System Configuration` メニューを表示します。
6. `1` を入力してメンテナンスユーザーのパスワードを変更し、画面の指示に従ってください。

VMインスタンスのCPUまたはRAMを増やす

コンソールのローカル展開をホストする VM インスタンスの CPU または RAM を増やすことができます。

VCenter または ESXi ホストで VM インスタンスの設定を編集し、メンテナンスコンソールを使用して変更を適用します。

vSphereクライアントでの手順

1. vSphereクライアントを開き、vCenterにログインしてください。
2. Console のローカル展開をホストする VM インスタンスを選択します。
3. VMインスタンスを右クリックして、*設定の編集*を選択します。
4. /opt または /var パーティションに使用されているハードドライブの容量を増やしてください。
 - a. /opt に使用されるハードドライブの容量を増やすには、「ハードディスク 2」を選択します。
 - b. /var に使用されるハードドライブの容量を増やすには、「ハードディスク 3」を選択します。
5. 変更を保存します。

メンテナンスコンソールでの手順

1. vSphereクライアントを開き、vCenterにログインしてください。
2. Console のローカル展開をホストする VM インスタンスを選択します。
3. 「Launch Web Console」を選択します。
4. VMインスタンス作成時に指定したユーザー名とパスワードを使用して、VMインスタンスにログインします。ユーザー名は `maint` で、パスワードはVMインスタンス作成時に指定したものです。
5. 入力 `1 to view the` `System Configuration` メニュー。
6. 入力 `2` して、画面の指示に従ってください。コンソールは新しい設定をスキャンし、パーティションのサイズを拡大します。

コンソールのローカル展開VMのネットワーク設定を表示する

ネットワークの問題を確認またはトラブルシューティングするには、vSphereクライアントでコンソールローカルデプロイメントVMのネットワーク設定を表示します。以下のネットワーク設定は表示のみ可能で、更新はできません：IPアドレスとDNSの詳細。

手順

1. vSphereクライアントを開き、vCenterにログインしてください。
2. Console のローカル展開をホストする VM インスタンスを選択します。
3. 「Launch Web Console」を選択します。
4. VMインスタンス作成時に指定したユーザー名とパスワードを使用して、VMインスタンスにログインします。ユーザー名は `maint` で、パスワードはVMインスタンス作成時に指定したものです。
5. `2` を入力して `Network Configuration` メニューを表示します。

6. 1から6までの数字を入力すると、対応するネットワーク設定が表示されます。

コンソールローカルデプロイメント**VM**の静的ルートを更新します

必要に応じて、コンソールローカルデプロイメントVMの静的ルートを追加、更新、または削除します。

手順

1. vSphereクライアントを開き、vCenterにログインしてください。
2. Console のローカル展開をホストする VM インスタンスを選択します。
3. 「Launch Web Console」を選択します。
4. VMインスタンス作成時に指定したユーザー名とパスワードを使用して、VMインスタンスにログインします。ユーザー名は `maint` で、パスワードはVMインスタンス作成時に指定したものです。
5. `2`を入力して `Network Configuration` メニューを表示します。
6. 静的ルートを更新するには、`7`を入力し、画面の指示に従ってください。
7. Enterキーを押します。
8. 必要に応じて、さらに変更を加えてください。
9. `9`を押して変更を確定します。

コンソールローカル展開**VM**のドメイン検索設定を更新する

コンソールのローカルデプロイメントVMの検索ドメイン設定を更新できます。

手順

1. vSphereクライアントを開き、vCenterにログインしてください。
2. Console のローカル展開をホストする VM インスタンスを選択します。
3. 「Launch Web Console」を選択します。
4. VMインスタンス作成時に指定したユーザー名とパスワードを使用して、VMインスタンスにログインします。ユーザー名は `maint` で、パスワードはVMインスタンス作成時に指定したものです。
5. `2`を入力して `Network Configuration` メニューを表示します。
6. 入力 `8`してドメイン検索設定を更新し、画面の指示に従ってください。
7. Enterキーを押します。
8. 必要に応じて、さらに変更を加えてください。
9. `9`を押して変更を確定します。

コンソールのローカル展開診断ツールにアクセスする

コンソールのローカル展開に関する問題をトラブルシューティングするには、診断ツールにアクセスしてください。NetApp サポートから、問題のトラブルシューティング時にこの操作を求められる場合があります。

手順

1. vSphereクライアントを開き、vCenterにログインしてください。
2. Console のローカル展開をホストする VM インスタンスを選択します。

3. 「Launch Web Console」を選択します。
4. VMインスタンス作成時に指定したユーザー名とパスワードを使用して、VMインスタンスにログインします。ユーザー名は `maint` で、パスワードはVMインスタンス作成時に指定したものです。
5. `3`を入力して、サポートと診断メニューを表示します。
6. 入力 `1`して診断ツールにアクセスし、画面の指示に従ってください。

コンソールのローカル展開診断ツールにリモートでアクセスする

Puttyなどのツールを使用して、診断ツールにリモートでアクセスできます。ワンタイムパスワードを割り当てることで、コンソールのローカルデプロイメントVMへのSSHアクセスを有効にします。

SSHアクセスにより、コピー＆ペーストなどの高度なターミナル機能を利用できるようになります。

手順

1. vSphereクライアントを開き、vCenterにログインしてください。
2. Console のローカル展開をホストする VM インスタンスを選択します。
3. 「Launch Web Console」を選択します。
4. VMインスタンス作成時に指定したユーザー名とパスワードを使用して、VMインスタンスにログインします。ユーザー名は `maint` で、パスワードはVMインスタンス作成時に指定したものです。
5. `3`を入力して `Support and Diagnostics`メニューを表示します。
6. `2`を入力して診断ツールにアクセスし、画面の指示に従って24時間で有効期限が切れるワンタイムパスワードを設定してください。
7. PuttyなどのSSHツールを使用して、ユーザー名 `diag` と設定したワンタイムパスワードを使用して、コンソールのローカルデプロイメントVMに接続します。

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。